

# 村の歴史 目次

## 第二篇 村の歴史

### 第一章 原始・古代

#### 第一節 原始時代

##### 一 旧石器時代

1 ヒトへの長い道のり

2 日本の旧石器文化

##### 二 縄文時代

1 縄文時代の開始

2 縄文文化への道

3 縄文文化の確立

4 東海地方の土器

5 台地文化の爛熟

6 台地の文化の解体

3

3

3

3

8

16

16

30

38

47

58

102

109

1 イネの伝来 :	109
2 稲作の広がり :	110
3 弥生時代の稲作技術 :	112
4 金属器の登場 :	114
5 戰いの始まり :	115
6 クニの出現 :	116
7 弥生文化の発展 :	118
8 武石谷の遺跡 :	120
<b>第二節 古代 :</b>	
一 武石谷の古墳時代・奈良・平安時代の遺跡 :	136
二 奈良・平安時代 :	136
<b>第二章 中世 :</b>	
<b>第一節 概説 :</b>	
一 これまでの研究の成果 :	153
二 中世史解明の手がかり :	153
<b>第二節 鎌倉時代の武石 :</b>	
一 武石の「かいと」地名 :	157
	158

## 二 堀之内館跡とその領主

1 二つの堀と二つの居館の新旧 ······

2 堀之内居館址 ······

3 堀之内居館の領主はだれか ······

4 武石氏 ······

### 第三節 室町時代 ······

一 大和守屋敷 ······

二 大堰のはたらき ······

三 大和守屋敷の領主はだれか ······

1 これまでの説 ······

2 忘れ去られた過去の歴史 ······

3 佐久岩村田系大井氏に対する疑問 ······

4 武石大井氏の系譜 ······

5 千葉氏、南北朝期の対応 ······

6 結城陣番帳「武石殿」 ······

7 武石大井氏—その岩村田流と甲斐武田流との混同 ······

四 諏訪下社との関係 ······

五 五日町と松島 ······

六 中世の残影……	1	五輪塔と沖の開発	209
2 鳥屋……	211		
3 「入」と築地……	212		
4 小沢根と余里……	213		
<b>第四節 中世の山城……</b>	214		
まえがき……	215		
一 鳥屋山砦跡……	216		
二 鳥屋山砦跡……	217		
三 小山城跡……	218		
四 金ヶ崎城跡……	219		
五 中山城跡……	220		
六 山の鼻砦跡……	221		
七 猿ヶ城跡……	222		
八 鬼ヶ城跡……	223		
九 きつね地名……	224		
<b>第五節 戦国時代……</b>	225		
一 武田信玄の来攻と鳥屋城の落城……	240		

二 武田氏時代の支配	244
三 武田氏の滅亡と真田氏の支配	247
<b>第六節 古社寺</b>	
1 五日町明神と子檀嶺神社	253
2 大宮下諏訪大明神	255
3 妙見寺	256
4 信広等	259
5 正念寺	261
6 そのほかのお寺	262
<b>第三章 近世</b>	
<b>第一節 武石郷から武石村へ</b>	
概 説	265
一 武石村のなりたち	265
1 武石村のありさま	266
2 村のしくみ	267
二 石直し	271
1 石高制へ	278

第二節 自然のめぐみと人々の努力	2 年貢の収納
一 田畠の耕作	300 300 296
1 農事暦 (覚書)	301
2 作物の種類 (宝永三年五月)	307
3 肥料 (宝永三年五月)	307
4 収量	309
5 作付夫食の貸与	309
6 雨乞い	310
二 山の幸	311
1 宝永三年の差出帳に見える御林	312
2 入会地の利用	312
三 御林の利用	315
1 村林取扱方規定書之事	315
2 材木の用途	213
3 炭焼き	318
4 岳の湯	320
四 道	322
	324

# 目 次

1 交通	325
2 伝馬と助郷	345
五 わざわいと対応	345
1 飢饉	345
2 火災・盜難事件	352
第三節 村の生活	358
一 宗門改帳を見る	358
1 人口の変化	367
2 家族構成	373
二 村うちの身分	378
1 本百姓と抱	378
2 箱役	386
三 家と女たち	391
1 家	391
2 女たち	396
四 むら人の生活	414
1 衣類	414
2 住居	421

3 集落	429
4 山仕事	430
5 奉公	432
五 村のできごと	437
1 上田藩の法令	437
2 博奕	441
3 村のとりきめ	445
4 野荒し	450
5 一揆	454
六 文化と教育	458
1 たのしみ	459
2 若者組	464
3 寺子屋	467
第四節 新しい動き	470
一 村の動き	470
1 村方騒動と村役交代	470
2 困窮の実態	475
3 文政地押	479

目 次

二 幕末期の動き………	498
1 格式の変化………	498
2 天保一二年小前一件………	509
3 調達金と人足動員………	511
執筆委員………	515
協力者氏名………	515